



2024年2月期第1四半期 決算補足資料

FY2024 1Q 2023.3.1 – 2023.5.31
Financial Result

SFPホールディングス株式会社 証券コード：3198 (TYO)

Index

FY2024 1Q ハイライト	3P
売上高	4P
原価率	5P
販売管理費	6P
営業利益	7P
損益計算書	8P
今後の方向性と取り組み	9P
業績ガイダンス	17P
株主還元	18P
Appendix	19P

FY2024 1Q ハイライト

○ 業績のハイライト

売上高 : 7,156百万円 (前年同期比 154%)

訪日客（インバウンド）の回復続く、お花見・春の歓送迎会・GW大型連休の客足も順調

営業利益 : 592百万円 (前年同期差 約1,196百万円の増加)

インフレ・物価高の影響は限定的、利益体質へ転換

○ 事業のハイライト

訪日客向けメニュー投入 第一弾 焼タラバ蟹 (1肩9,800円税別)

主力の磯丸水産では売上高の8.9%が訪日客、訪日客向けメニューの開発など対応強化

ネオ大衆酒場「五の五」 大阪・京都へ進出

1都3県を中心に展開してきたネオ大衆酒場「五の五」、関西エリアへ初進出

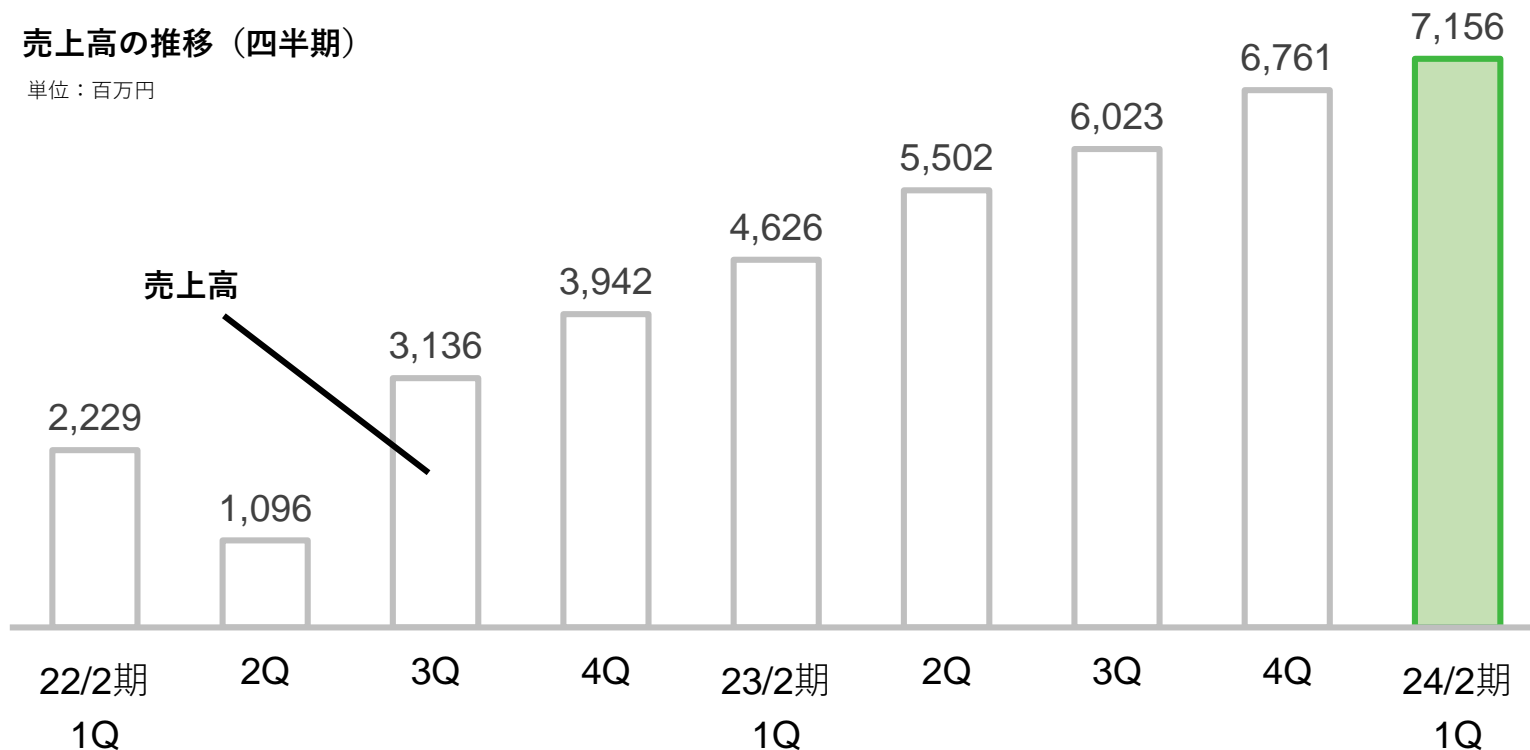
売上高

○売上高：7,156百万円（前年同期比 154%）

- ・昨秋から訪日観光客の増加につづく、新宿・上野・浅草・秋葉原・なんば・京都などで売上高が伸長
- ・お花見や春の歓送迎会など、コロナ禍には消えていた宴会需要が持ち直し
- ・「5類感染症移行」に伴いマスク着用など行動様式に変化、ゴールデンウィーク客足好調

売上高の推移（四半期）

単位：百万円

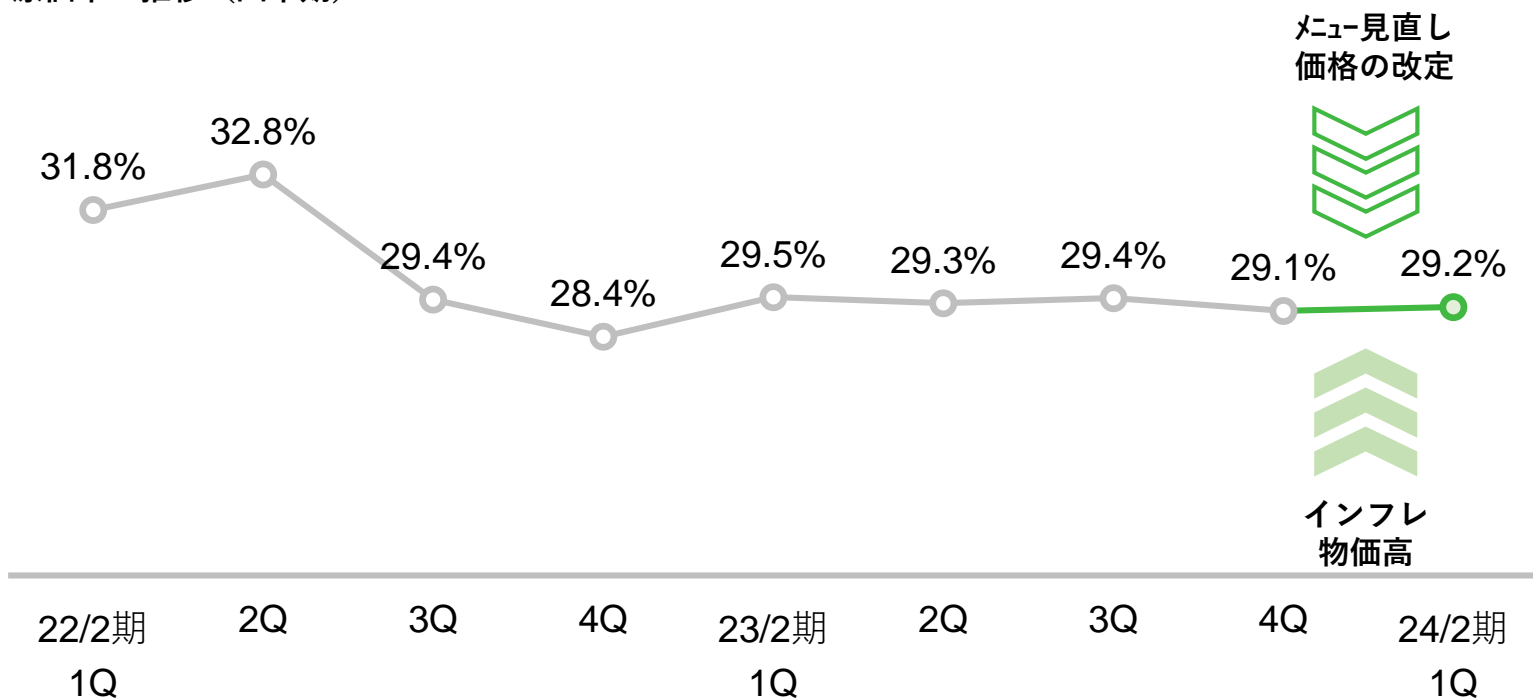


原価率

○原価率：29.2%（前年同期比 △0.3%）

- ・円安や鳥インフル感染拡大などを背景に、魚介類、青果類や鶏卵の高値続く
- ・インフレ・物価高の影響は軽微、メニュー見直し、価格の改定（一部）を通じて柔軟に対応

原価率の推移（四半期）



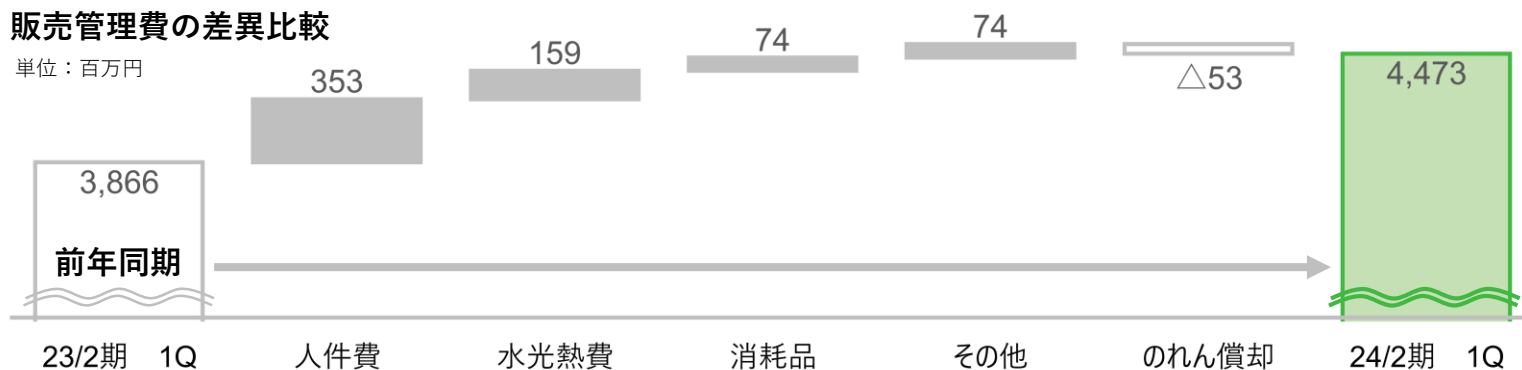
販売管理費

○販売管理費：4,473百万円

前年同期との差異：約607百万円の増加 売上高増に伴うコスト増に加え、人件費と水光熱費はインフレの影響を受け上昇

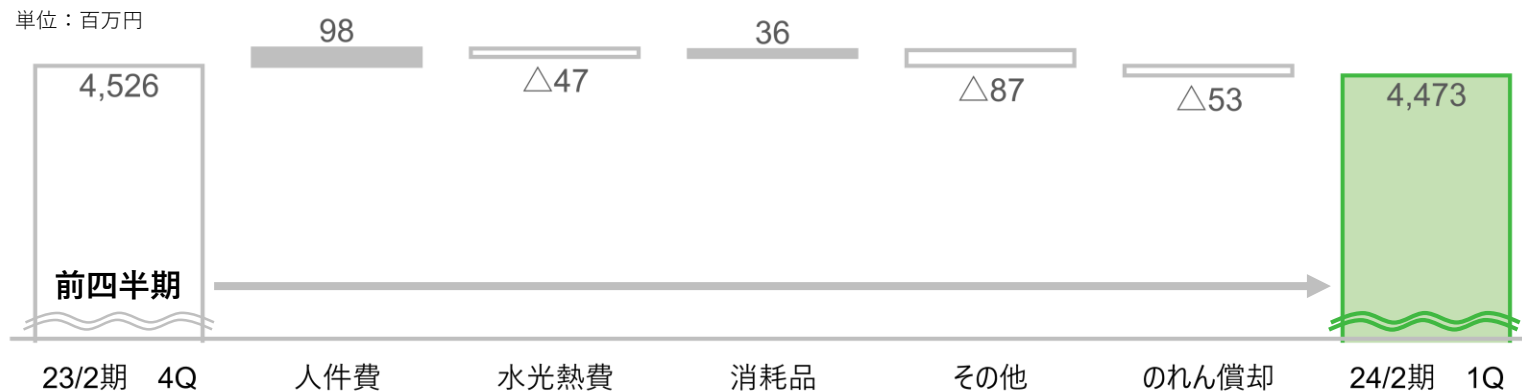
販売管理費の差異比較

単位：百万円



前四半期との差異：約52百万円の減少 積極採用と賃上げで人件費増も、水光熱費の上昇は落ち着き

単位：百万円



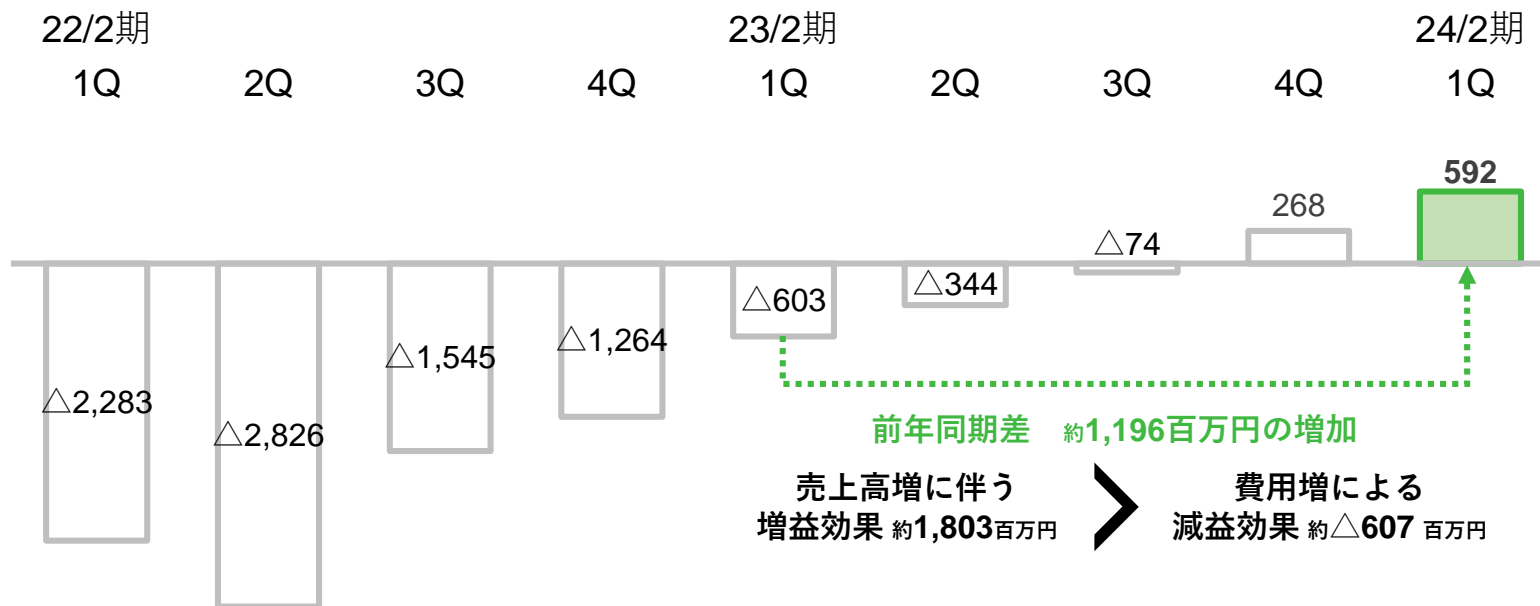
営業利益

○ 営業利益：592百万円（前年同期差 1,196百万円の増加）

- ・ 前四半期に営業黒字に転換、当1Qも順調に利益拡大、前年同期（603百万円の赤字）からは大幅な改善
- ・ インフレ影響による人件費の増加や水光熱費の上昇を吸収、利益体質へ転換 → 定着へ

営業利益の推移（四半期）

単位：百万円



損益計算書

- ・前年同期比 売上高・営業利益ともに大幅増加、営業外収益（主に助成金）が剥落したため経常減益（△761百万円）
- ・前四半期比 増収増益、堅調に推移

(百万円)	24年2月期【今期】					23年2月期【前期】				通期計
	1Q	前年同期比 (A)		前四半期比 (B)		1Q (A)	2Q	3Q	4Q (B)	
		増減	%	増減	%					
売上高	7,156	2,529	154.7%	395	105.8%	4,626	5,502	6,023	6,761	22,913
売上原価	2,089	726	153.3%	123	106.3%	1,363	1,610	1,773	1,966	6,712
売上総利益	5,066	1,803	155.3%	271	105.7%	3,263	3,892	4,249	4,794	16,200
販管費及び一般管理費	4,473	607	115.7%	△ 52	98.8%	3,866	4,237	4,324	4,526	16,955
営業利益	592	1,196	-	324	221.1%	△ 603	△ 344	△ 74	268	△ 754
営業外収益	64	△ 1,961	3.2%	△ 1	97.4%	2,025	166	88	65	2,346
営業外費用	1	△ 3	23.1%	△ 0	98.1%	5	2	0	1	8
経常利益	655	△ 761	46.3%	323	197.1%	1,417	△ 181	14	332	1,583
特別利益	2	△ 2	46.6%	△ 2	49.7%	4	24	0	4	34
特別損失	0	△ 31	2.6%	△ 693	0.1%	32	152	11	694	890
税引前当期純利益	657	△ 732	47.3%	1,014	-	1,389	△ 309	4	△ 357	727
法人税等合計	167	△ 100	62.6%	307	-	267	11	39	△ 140	177
当期純利益	489	△ 632	43.7%	706	-	1,122	△ 320	△ 35	△ 216	549

今後の方向性・取り組み

今後の方向性・取り組み

新規出店

地方都市

未開拓の地方都市へ
主力の磯丸水産を出店

注力業態

ネオ大衆酒場

小型で低投資
高収益モデル確立へ

既存店の伸びしろ

訪日観光客 深夜営業

需要を取り込み収入伸ばす

インフレ・人手不足の対応

賃上げ

従業員への生活支援も

DX推進

モバイル オーダー

導入店舗拡大へ

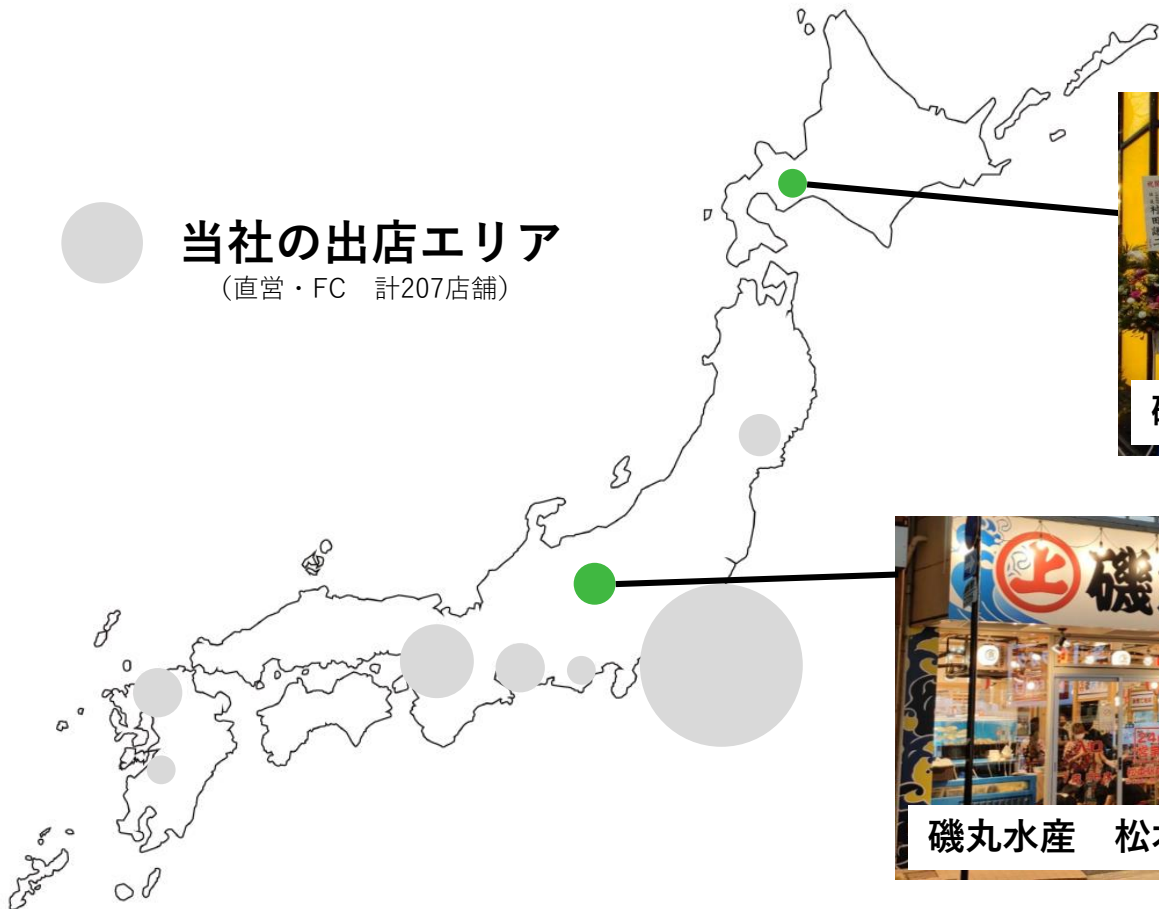
新規出店 -地方都市

○ターゲットは地方都市 札幌に続いて長野県松本へ進出

- ・22年12月 北海道初進出 訪日客急伸（インバウンド）も重なって盛況続く
- ・23年 6月 長野県松本へ進出 想定を上回る大盛況
- ・地方都市でも十分に戦える、北信越、中国、四国、南九州エリアを中心に引き続き物色中

当社の出店エリア

(直営・FC 計207店舗)



磯丸水産 札幌狸小路店(FC)



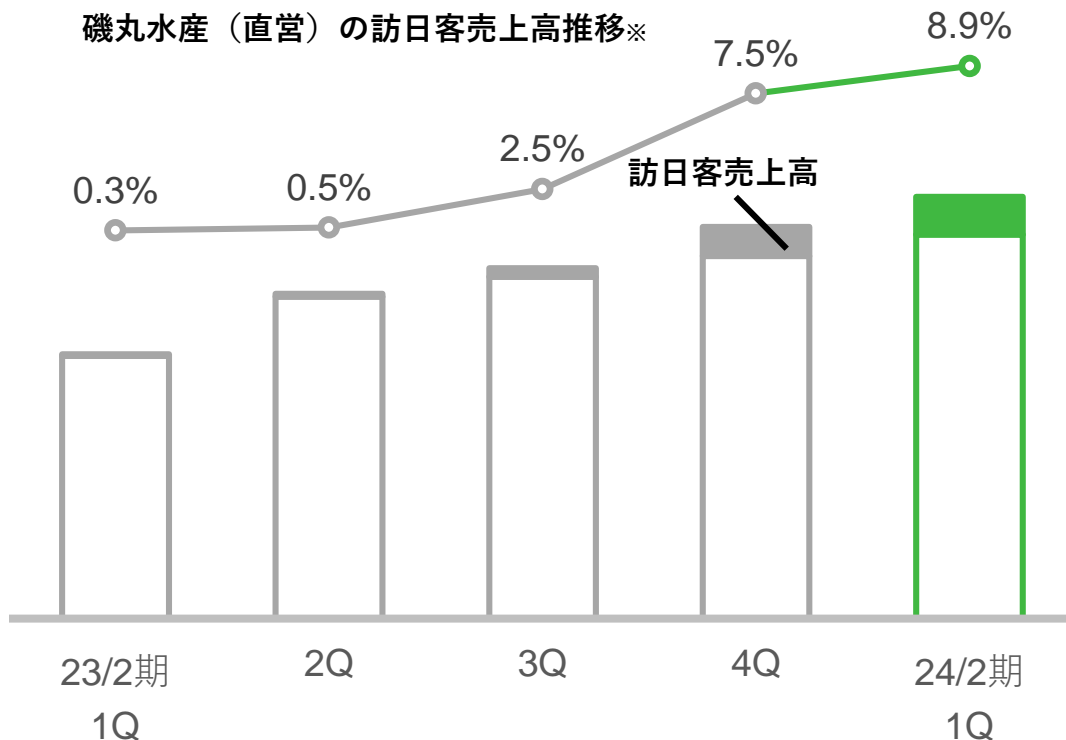
磯丸水産 松本駅前店

既存店の伸びしろ -訪日観光客

○主力の磯丸水産 訪日観光客の売上割合は8.9%

- ・ 訪日客向け高価格帯メニューを一部店舗へ投入 第一弾のタラバ蟹（一肩：9,800円）は期待以上の売れ行き
- ・ 出遅れている中国人訪日客（団体）の回復本格化に期待
- ・ 訪日客への対応力強化、外国人スタッフを積極的に採用

磯丸水産（直営）の訪日客売上高推移※



第一弾 焼タラバ蟹 一肩9,800円



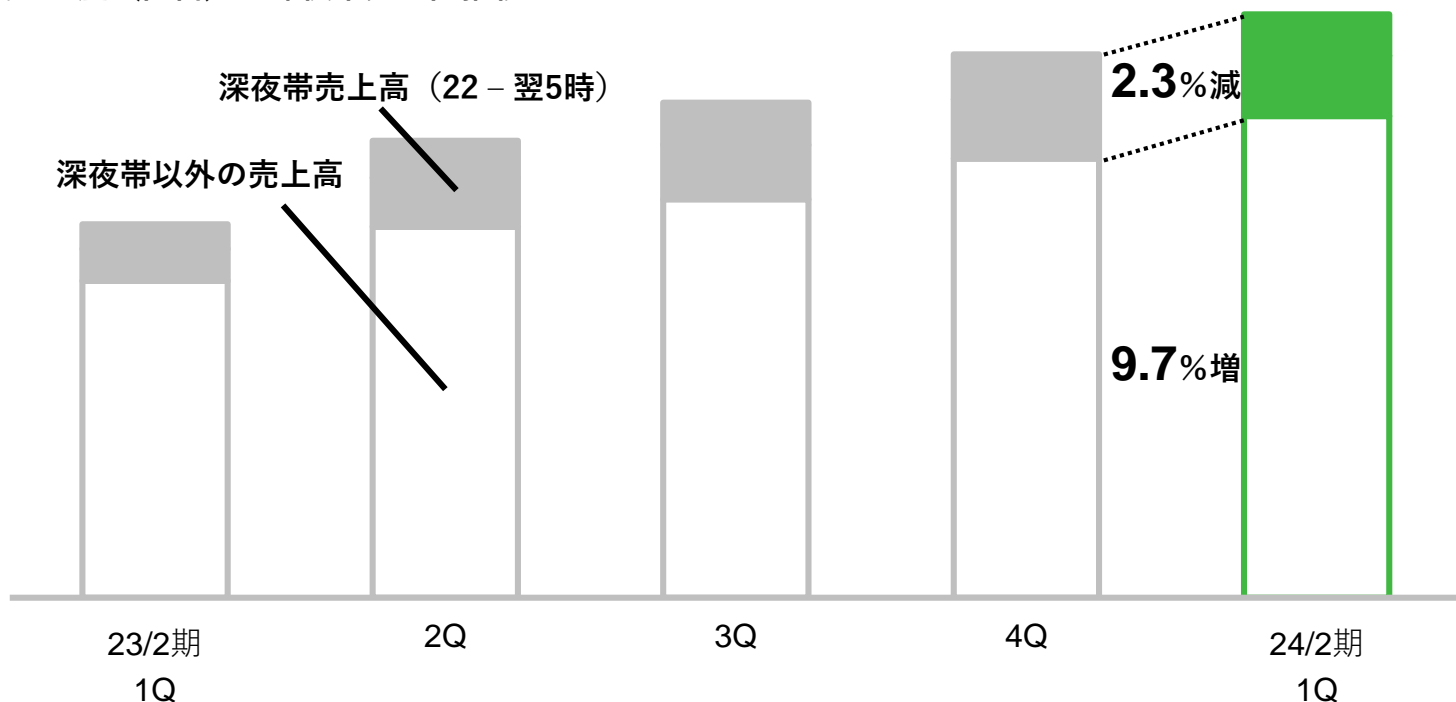
※ご来店時、店員がお客様の属性を目視で判定しています。

既存店の伸びしろ -深夜帯営業

○磯丸水産 深夜帯売上高 前四半期から2.3%減で足踏み (22 - 翌5時)

- ・客足は着実に回復しているが、人手不足もあり深夜帯営業を再開していない店舗 磯丸水産の35%超
- ・深夜帯は、お酒のご注文が多く高マージン、居酒屋にとって大切な稼ぎ時であり、売上高の伸びしろ
- ・まずは人手を確保、優先順位をつけながら段階的に深夜帯の営業再開を実行してゆく

磯丸水産（直営）の深夜帯売上高推移



※深夜帯売上高：22：00～翌5：00のレジを通過した金額

インフレ・人手不足の対策

○賃上げ4.1%UP、外国人スタッフ採用など

- ・賃上げ4.1%UP、採用条件を改善、従業員の生活支援、人材流出の抑制、グループ横断で課題に取り組む
- ・外国人スタッフを積極採用、貴重な働き手として長期就労を視野に入れた支援制度充実など検討
- ・出店を加速させている地方都市では現地スタッフを採用



DX推進 -モバイルオーダー-

○試験導入を経て、23年5月より順次全国約170店舗へ導入拡大

- ・一部の店舗で試験導入していたモバイルオーダーサービス、導入店舗を拡大、利便性と効率性の両立へ
- ・ぐるなび社が提供する「ぐるなびFineOrder」を採用
- ・モバイルオーダーの活用は、キャッシュレス促進や店舗スタッフの負担軽減にも寄与

オーダー経路（試験導入店）

店員経由

30%

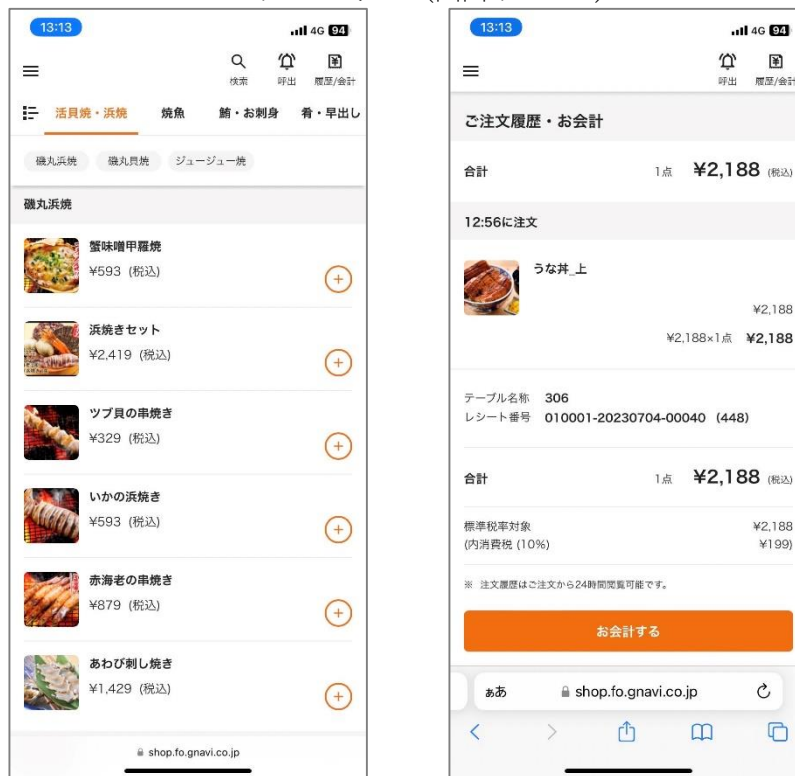
ぐるなびFineOrder

70%

試してもらい、便利さを実感してもらえた改善の余地はあるが、今後さらに普及する

スタッフの負担軽減にも寄与
導入店舗を拡大

モバイルオーダー（画面イメージ）



業績ガイダンス

○進捗：売上高・利益ともにしっかり、インフレ影響は限定的

- ・売上高は堅調に推移、魚介類の値上がりや光熱費上昇も想定の範囲内にとどまり、利益を押し上げる
- ・2Q以降、訪日客取り込み（特に訪日中国人）、人手不足解消・営業時間延長など課題に取り組む
- ・計画に対して着実に進捗しているが、引き続きインフレ・物価高の状況など慎重に見極めながら実績積み上げる

通期業績予想の前提（2023年4月14日発表）

- ✓ 増収見通し、訪日客増加は持続、深夜帯の客足も伸びる
- ✓ 原価率は維持する、水光熱費の上昇が利益を下押しするも増益を確保
- ✓ 助成金の剥落（前期は約20億円計上）により経常利益は減益

(百万円)	1Q実績 (23年3月～23年5月)	通期業績予想 (23年3月～24年2月)	進捗率	進捗状況
売上高	7,156	27,000	27%	訪日客取り込みが好調
営業利益	592	1,000	59%	魚介類など原材料の値上がりや 光熱費の上昇は想定の範囲内、 今後の展開には不透明な要素残す
経常利益	655	1,200	55%	
純利益	489	900	61%	

百万円未満は切り捨てて表示

株主還元

○配当予想 中間10円/株・期末10円/株 安定継続を基本方針とする

配当金

中間/期末	2021/2月期		2022/2月期		2023/2月期		2024/2月期（予）	
	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末
配当金/株	0	0	0	10円	10円	10円	10円	10円
配当性向	—		14.8%		93.8%		57.3%	

株主優待制度

基準日	2月末日	8月31日	
贈呈時期	5月中旬	11月中旬	
保有株式数	100～499株	お食事券 4,000円分	お食事券 4,000円分
	500～999株	お食事券 10,000円分	お食事券 10,000円分
	1,000株～	お食事券 20,000円分	お食事券 20,000円分

既発の株主優待券

ご利用期限：23年11月30日
（発送時期：23年5月中旬頃）

券面色：オレンジ



Appendix

損益計算書

貸借対照表

出退店の状況

既存店前年比

損益計算書

(百万円)	2022年2月期					2023年2月期					2024年 2月期
	1Q (21年3-5月)	2Q (6-8月)	3Q (9-11月)	4Q (12-2月)	通期	1Q (22年3-5月)	2Q (6-8月)	3Q (9-11月)	4Q (12-2月)	通期	1Q (23年3-5月)
売上高	2,229	1,096	3,136	3,942	10,404	4,626	5,502	6,023	6,761	22,913	7,156
鳥良事業	401	98	566	743	1,809	868	1,012	1,149	1,298	4,328	1,342
磯丸事業	1,122	451	1,779	2,333	5,687	2,764	3,398	3,667	4,098	13,928	4,333
その他事業	407	267	467	555	1,698	657	715	813	956	3,142	1,011
連結子会社	297	279	323	309	1,208	335	376	392	408	1,513	468
売上原価	709	359	923	1,121	3,114	1,363	1,610	1,773	1,966	6,712	2,089
売上総利益	1,519	736	2,213	2,820	7,290	3,263	3,892	4,249	4,794	16,200	5,066
販管費	3,802	3,562	3,759	4,085	15,210	3,866	4,237	4,324	4,526	16,955	4,473
営業利益	△2,283	△2,826	△1,545	△1,264	△7,919	△603	△344	△74	268	△754	592
営業外収益	2,180	4,092	3,223	706	10,202	2,025	166	88	65	2,346	64
営業外費用	18	18	22	20	80	5	2	△0	1	8	1
経常利益	△121	1,247	1,654	△577	2,202	1,417	△181	14	332	1,583	655
特別利益	32	71	0	0	103	4	24	0	4	34	2
特別損失	1	35	29	342	408	32	152	11	694	890	0
税前当期純利益	△91	1,284	1,624	△919	1,897	1,389	△309	4	△357	727	657
法人税等	55	243	333	△481	152	267	11	39	△140	177	167
当期純利益	△147	1,040	1,291	△438	1,745	1,122	△320	△35	△216	549	489

百万円未満は切り捨てて表示

貸借対照表

(百万円)	2022年2月期				2023年2月期				2024年 2月期
	1Q (21年5月末)	2Q (21年8月末)	3Q (21年11月末)	4Q (22年2月末)	1Q (22年5月末)	2Q (22年8月末)	3Q (22年11月末)	4Q (23年2月末)	1Q (23年5月末)
流動資産	13,500	14,768	17,530	7,145	9,263	9,361	9,762	10,385	10,424
うち現預金	10,889	9,844	12,871	5,777	7,146	8,227	8,594	9,252	9,244
固定資産	10,087	9,718	9,439	8,951	8,544	8,137	8,031	7,189	7,164
投資その他の資産	3,465	3,314	3,286	3,319	3,163	3,069	3,088	3,125	3,095
資産合計	23,587	24,486	26,970	16,096	17,807	17,498	17,794	17,574	17,588
流動負債	11,273	11,186	12,414	2,070	2,937	2,997	3,597	3,685	3,600
うち有利子負債	9,521	9,520	9,510	354	328	331	327	375	405
固定負債	1,720	1,666	1,633	1,587	1,556	1,497	1,476	1,348	1,222
負債合計	12,994	12,852	14,048	3,658	4,494	4,495	5,073	5,034	4,823
純資産合計	10,593	11,633	12,921	12,438	13,313	13,003	12,720	12,540	12,765
負債・純資産合計	23,587	24,486	26,970	16,096	17,807	17,498	17,794	17,574	17,588

百万円未満は切り捨てて表示

出退店の状況

(単位：店舗数)

(店舗数)	2021/2月期	2022/2月期	2023/2月期	2023/5月期
直 営	213	201	194	192
磯丸水産	105	103	104	101
鳥 良	48	43	37	36
その他	17	16	15	15
ネオ大衆酒場	8	8	12	13
連結子会社	35	31	26	27
フランチャイズ	14	14	16	15
計	227	215	210	207
出 店	5	1	5	2
退 店	53	13	10	5
増 減	△48	△12	△5	△3

既存店前年比

FY2024	2023年 3月	4月	5月	6月 (速報値)	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 1月	2月	通期計
既存店前年比	276.6%	132.7%	121.7%	113.8%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FY2023	2022年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	通期計
既存店前年比	131.3%	157.1%	161.1%	158.5%	137.9%	165.8%	168.6%	154.6%	113.0%	108.4%	145.9%	223.1%	130.5%
FY2022	2021年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2022年 1月	2月	通期計
既存店前年比	57.5%	121.5%	117.7%	88.4%	83.7%	75.2%	64.1%	74.8%	95.1%	117.0%	156.5%	101.6%	89.9%

既存店：期初時点において、出店から13ヶ月経過した店舗

本資料はSFPホールディングス株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。

また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。

その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

[本資料に関するお問い合わせ先]

SFPホールディングス 経営企画部

TEL： 044-750-7154

ホームページ： <https://www.sfpdining.jp>